



# かわみなみ 議会だより



10月25日 8か月振りに開催された定期朝市トロントロン軽トラ市

## もくじ

- 2-3 条例・一般会計補正予算・決算審査
- 4 ふるさと納税
- 5 議案質疑
- 6 賛否表・人事案件
- 7~15 一般質問
- 16 トピックス・編集後記

**No.130**  
令和2年(2020年)  
11月1日発行

## 通浜交流館として生まれ変わる

通浜児童館条例を廃止し「川南町通浜交流館」として地域住民の交流と福祉の向上を図る為の施設となった。

管理は福祉課が行う。利用料金は附則で定められており1時間300円、エアコン使用時は1時間100円、ガス使用料1時間あたり50円となっている。

委員会では、利用料金については、地域など考慮し減免制度を設けて欲しい意見があった。



通浜交流館

## 番野地保育所新設 民営化に



完成イメージ図

番野地保育所は令和3年4月の民営化に伴い現在新設工事を行っている。国の交付要綱の改正で基準額が増額したため、(参照：下記の表)今回増額となった。設置者は社会福祉法人、敬神福祉会(理事長：永友敬人)で定員50名の計画である。

	当初予算	補正予算	総額	負担率
国の補助金	79,263,000	9,920,000	89,183,000	43.0%
町の補助金	39,631,500	4,960,000	44,591,500	21.5%
国・町補助計	118,894,500	14,880,000	133,774,500	64.5%
施設自己負担			73,625,500	35.5%
計			207,400,000	100.0%

## 定額給付金 新生児にも支給

新型コロナウイルス感染症対策として国が給付した特別定額給付金の基準日以降に出生した子供を持つ親を対象に1人10万円を給付する。対象は令和2年4月28日から令和3年3月31日までとなる。財源は国の新型コロナウイルス感染症対策事業を利用して町単独でおこなう。

## 総合福祉センター 令和4年 10月オープン

総事業費16億9707万円となる総合福祉センターの入札により、本体工事10億5710万円、設備工事6050万円、電気工事6188万6千円で契約が可決された。

## 川南町の 特産品を送ろう! 送料応援キャンペーン 1150万円追加!

目的・・・川南町で生産される特産品を買って、送って、コロナ禍で疲弊する地域経済を応援する。

9月末で終了の予定であったが、9月議会定例会で予算が追加され、年末まで延長される。(予算がなくなり次第終了)

5月臨時会からの送料応援の実績は下記の通りとなる。

これまでの実績は

月	実績
6月	2,274件
7月	3,335件
8月	4,594件
9月	2,346件
計	12,549件

9月末迄の送料実績は1443万円となった。

予 算

5月臨時会	858万円
8月臨時会	550万円
9月定例議会	1150万円
計	2558万円

## たばこ税 1箱22.7%が町の財源

1箱540円の時122.44円

10月1日にたばこが値上げになったことにより、今回の税条例でたばこの課税方式が見直された。

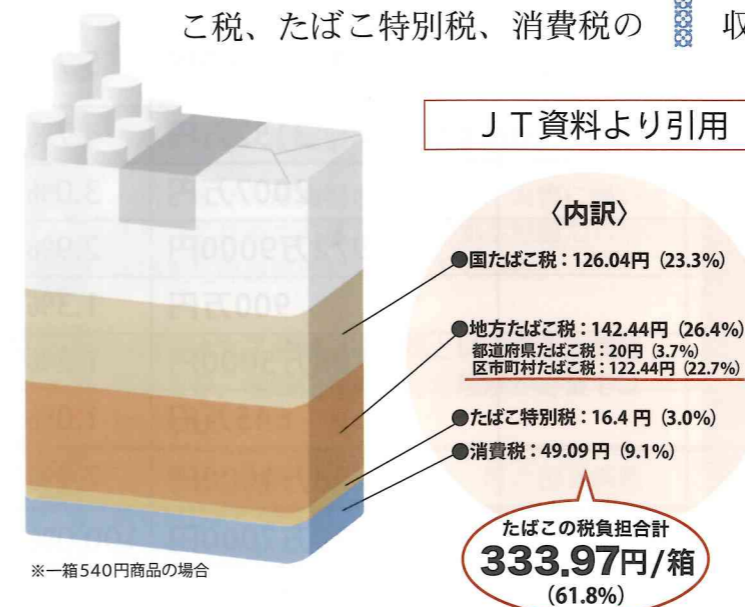
今回は税負担率が我が国でも重い商品の一つになっているたばこ税についてお知らせする。

たばこの価格には国たばこ税、地方たばこ税、たばこ特別税、消費税の

4種類もの税金が含まれている。

銘柄などによって異なるが、例えば一般的な紙巻たばこでは、税負担率は6割に達する。

令和元年度決算審査では、たばこ税として1億1049万316円が町収入となっている。たばこ代金の22.7%が市町村の税収となる。



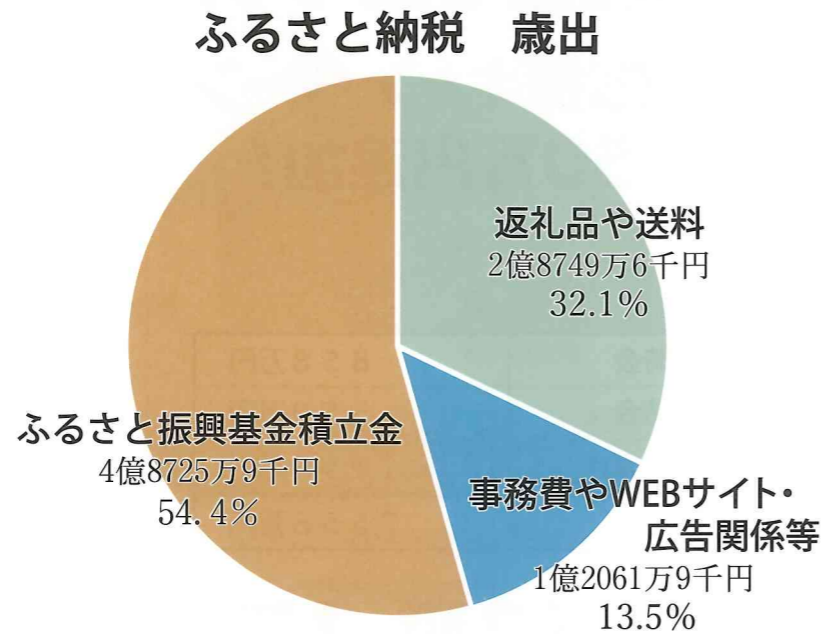
喫煙には充分なご配慮をお願いします。



# 令和元年度のふるさと納税は

令和元年度のふるさと納税は、寄付額8億3537万円と基金繰入金6000万円となり、合計8億9537万円となった。

右のグラフはふるさと納税の歳出額で返礼品、経費、基金額となっている。



# 令和元年度のふるさと振興基金 運用状況

ふるさと振興基金繰入 充当事業	充当額	割合
川南ぷらっつ	2億7960万9000円	41.4%
施設園芸用ハウス設置整備事業	1億5520万1000円	23.0%
小中学校 冷暖房設置工事	5395万円	8.0%
人口減対策事業 (高等学校就学支援・私立保育士処遇改善・婚活イベント)	3830万2000円	5.7%
子ども医療費助成	3152万円	4.7%
保育料軽減	2007万円	3.0%
住宅リフォーム	1972万9000円	2.9%
漁具機器等導入支援事業補助金	900万円	1.3%
商工業振興支援事業補助金	798万5000円	1.2%
コミュニティバス・川南駅線運行委託料	645万円	1.0%
その他30事業	5298万1000円	7.9%
合計	6億7479万7000円	100.0%

※ふるさと振興基金残高は令和2年5月末現在で8億4918万3千円になる。

# 聞いてみました

## 総合福祉センター工事

**Q** 継続事業で、契約期間が令和4年3月21日までに終わっているが、解体工事はまだ終わっていないのに、計画通りに進んでいくのか。

**A** 解体工事の契約期間は、8月31日から12月15日までとなっており、9月末から着工予定であり、継続事業は予定通り進んでいく。



解体工事中の町公民館

## バイオマス産業都市構想

**Q** バイオマス産業都市構想策定委託料について、詳しい説明を。

**A** 木質、食品残渣、下水汚泥、家畜排せつ物などのバイオマスを活用し産業創出や循環型の再生可能エネルギーの導入を図り、地域の雇用創出や活性化につなげるバイオマス産業都市を構築するのがねらいである。

**Q** バイオマス産業都市をめざすのか。

**A** バイオマス産業都市を目指し、災害に強いまちづくりやこの事業で発生する熱源でハウス団地化等農業に利用を考えている。

**Q** バイオマス産業都市構想という大きな構想であるが、地域住民の十分な理解が必要ではないのか。

**A** 全体説明は行っていないが、町の担当課職員とMBRと登り口1、2、3の班長との会議で部分的に説明を行っている。正式に計画が決定した段階で地域住民説明をしていきたい。

## その他質疑

**Q** 若者連絡協議会補助金200万円の花火の打ち上げについて、インパクトのある時期に計画したらどうか。

**A** 11月8日(日)に計画している。

**Q** 成人式DVD制作配布委託料は。

**A** 新型コロナウイルス感染防止のため、成人式を2回に分けて実施するため、全体像が分かるDVDを記念品として配布するものである。

**Q** 口蹄疫埋却地整備工事について、どこを整備するのか。本来ならもう終わっていない筈なのに。

**A** 過去3年間で進めてきたのであるが、1か所排水の悪いところがあり、また雑木が生い茂っており、県の認可を得て実施するものである。

**Q** 川南別館敷地乗入部改修工事について伺いたい。

**A** 施設の西側に新設するもので、乗入部は現在3.9mあるが、高齢者等のことを配慮して4m拡幅する。利用しやすいようにするものである。



現在(拡幅前)の川南別館入口

# 令和2年8月臨時会・9月定例会議案賛否表

(○は賛成、●は反対、議は議長)		結果												
		1 河野 禎明	2 谷村 裕二	3 中津 克司	4 蓑原 敏朗	5 徳弘 美津子	6 児玉 助壽	7 竹本 修	8 米田 正直	9 内藤 逸子	10 川上 昇	11 中村 昭人	12 福岡 仲次	13 河野 浩一
8月臨時会議案														
令和2年度川南町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議
9月定例会議案(賛否が分かれた議案)														
令和元年度川南町水道事業会計利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議
令和2年度川南町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議
令和元年度川南町一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和元年度川南町特別会計等歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
9月定例会議案(全員が賛成し可決した議案)														
川南町通浜交流館条例を定めるについて	川南町新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付利子補助金基金条例を定めるについて	川南町新型コロナウイルス感染症緊急対策漁業資金貸付利子補助金基金条例を定めるについて												
川南町税条例の一部改正について	川南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	町道路線の認定について												
工事請負契約締結について(川南町総合福祉センター建築主体工事)	工事請負契約締結について(川南町総合福祉センター機械設備工事)	工事請負契約締結について(川南町総合福祉センター電気設備工事)												
工事請負契約締結について(下野田・勝司ヶ別府線 南下野田橋下部工事)	財産の取得について(川南町立小中学校学習用パソコン購入)	令和2年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)												
令和2年度川南町介護認定審査会特別会計補正予算(第1号)	令和2年度川南町介護保険特別会計補正予算(第1号)	令和2年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)												
令和2年度川南町水道事業会計補正予算(第1号)	令和元年度川南町水道事業会計決算認定について													

## 教育委員会委員の任命について

内野宮恵氏の任期満了に伴う任命案に同意

かわ そえ けん いち  
川添健一氏

川南町下小池地区在住 令和2年10月1日付



川添健一氏

# 一般質問

記事については質問者本人から提出された原文を基に作成しております。



## ふるさと納税(自主財源の確保)について

中津克司

【問1】地域活性化にどの様に活用したか、効果は。

【答1：町長】まちを元気にする目的で、返礼品取り扱い事業者の所得向上、雇用創出、後継者育成に取り組んだ。

【問2】ふるさと納税に対する首長の取り組み方、考え方で地域が変わる。昨年度の寄付額、都城市が全国2位、都農町が6位。我が町にも自慢の返礼品は沢山有る。隣町の躍進をどう思うか。

【答2：町長】自分の町をどうしたら良いか常にトップは考える、自分達でできる事を自分達でやりたいという強い信念でやっている。都城、都農はしっかりと他の業者、他の産品も受け入れたという事は非常に評価できる。私の町は目標通り進んでいるので満足している。

【問3】我が町が12億円弱で過去最高実績の時、高鍋町は2月に新町長が誕生し飛躍、前年5億円弱から25億円の実績と一気に追い越され、2倍以上の差を付けられた。私はリーダーシップの大切さを痛感したが如何か。

【答3：町長】高鍋も民間の力を使ってしっかりとやっている。軸はぶれずにやってきた、リーダーは常にその覚悟がいる。

## 運転しやすい道路環境を

【問4】国道10号線の唐中入り口から塩付方面への路面劣化は著しい。車線も見づらく危険で重大事故発生は充分予見できるし、中学生の通学路でもある。町内での重大事故防止策は町の責任、国

土交通省に改善改修を強く要望すべき。

【答4：町長】定期的協議会があるので伝えていく。

【問5】誰が何時までに要望行動するのか。

【答5：町長】常にやっている。

【問6】常にやっているなら、休憩時間にも国土交通省に要望できる。

【答6：建設課長】問い合わせした所、今年度中改良舗装する計画との事。

【問7】町道の中央線が消え、確認しづらい所が散見される。また、脇道から本線への止まれ表示が消えている所もあり大変危険。学校周辺の横断歩道等、車線、区画線の現状は把握しているのか。

【答7：建設課長】把握している。限られた予算の中でやっている。

【問8】交通事故防止に必要な不可欠な車線、区画線等、安全対策予算は考慮すべきではないか。

【答8：町長】命に関する事、最優先事項と認識している。

## 大事な宝 川南湿原を守ろう

【問9】川南湿原新橋溜池には汚水、雨水も流入しており環境保全はこのままで大丈夫か非常に危惧されている。現状を精査し抜本的な改善策を講じる為、隣接する宮崎病院、町、そして現地に精通した「川南湿原を守る会」代表者、三者による話し合いを実施したらどうか。

【答9：町長】実施する。



## 地域医療について

米田 正直

【問1】独立行政法人国立病院機構宮崎病院を西都児湯の公的病院としての拠点施設の位置付けはできないのか。町長の地域医療に対する考え方を示していただきたい。

【答1：町長】地域医療の役割は、高齢化の課題と同様に重要である。国立病院は町の権限は及ばないが、県の医療計画の中で二次医療圏ということで重要な位置付けをされている。

【問2】町内の医療機関の連携について伺う。

【答2：町長】町民の健康維持、生命を守るということで互いに必要な情報を共有し、地域医療を担っていただいている。医療機関の規模の大小はあるが、かかりつけ医として町民の健康状態を把握し、町民の信頼と期待を担っている。

【問3】西都児湯医療センターについて伺う。

【答3：町長】西都児湯圏域の重要な医療機関であり、川南町民にとってなくてはならない医療施設でもある。

施設整備が計画されているが、建設費の町の負担はない。診療体制については、現在の体制を維持するために市、県、宮崎大学、市郡医師会病院と連携を図っていくとのこと。

## 学校給食無料化について

【問4】学校給食の教育的見地は。

【答4：教育長】学校給食法に基づき実施され、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、食育の重要な教材としての役割を果たすものである。無償化については、諸課題を整理し慎重に検討したい。

【答4：町長】設備・人件費等については、町が負担しており、食材費を保護者負担としている。

検討課題ではあるが、現在のところ無償化の考えはない。

## 主要農作物種子法の廃止について

【問5】主要農作物種子法が廃止されたことについて町の考えは。

【答5：町長】法にかわる条例が、宮崎県はいち早く制定をされ、農家が安心して生産できる整備をしていただいた。現在23都道府県において条例が制定されているが、今後はすべての県で制定されることが予想される。農家が安心して安定的に生産できるという意味からも主要作物種子法は重要であった。

## 公共施設の喫煙室設置について

【問6】役場庁舎内に喫煙室を設置する考えはないか。

【答6：町長】法が適用される半年前に、屋外に仮の喫煙場所を設置し、検証を行った結果、少数の職員のみでの利用であり、町民の健康を守るという観点から、公的施設、公的敷地内の全面喫煙禁止と法律適用をした。現在のところ喫煙室設置の考えはない。



## 法改正に伴う選挙公営に どう取り組むか

川上 昇

【問1】6月の法改正で、町村議会議員選挙に供託金制度が導入され、さらに町村長選挙共々選挙運動用自動車の使用とポスターの作成が選挙公営として可能になった。また、ビラの頒布も認められ、作成も町村長選挙ともども選挙公営が認められることになった。このことをどの様にお考えか。そして今後、立候補をされる人材、人数、性別、年齢など変化が表れると思われるか。また、町として条例の制定ははじめタイムスケジュールをどうお考えか。

【答1：選挙管理委員会委員長(永田雄三)】

今回の法改正で立候補する際の環境が改善され、候補者間の選挙運動の機会均等が図られるものとする。また、選挙公営の拡大は新たに町の財政支出を伴うことから協議検討した上で、多様な人材を幅広い層から確保するためにも、次回の統一選挙からの実施に向けて取り組んでいきたい。

【答1：町長】一歩前進。我々は開かれた議会、議員とともにしっかりと議論する場であるということの前向きに捉えている。

【答1：選挙管理委員会書記長(総務課長)】

経費を公営とすることで、立候補しやすい環境が整うと考える。ただ、公費負担も限度額があるので検討しないといけない。今後の予定として、次回の選挙までに、できるだけ早い時期に条例制定に取り組むたい。

## 議会の中継配信を早急に 導入すべきでは

【問2】執行機関と議事機関の広報を、町長は日頃からどのようにお考えか。議会中継は、昨今のコロナ対策や都合で傍聴できない方には有難く便利なサービスだが如何お思いか。

また昨年度に行われた本年度の当初予算編成査定で、この議会中継の提案が認定されなかったが、金額以外に何か支障があるのか。

【答2：町長】広報については議員が町政に対して住民の皆様に責任を果たすという面、それから住民が町政に対して興味を持っていただく、参加していただく、そういうことを促すために必要不可欠なものと考えている。

それから、コロナ禍の中での会場に来られない人たちのために中継というのは、非常に積極的な広報のための有効な手段の1つであると考えている。

金額以外、一切支障はないし、なるべく早く取り組んでいただけたらいいのかなと考えている。我々町長部局としても支障がなく、全ての面で色んな形で応援したい。



壇上から臨む議会本会議場の傍聴席



## 町の人口ビジョンについて

髙原 敏朗

### 【問1】人口ビジョンの検証は

国は東京一極集中是正、少子化対策として「総合戦略」を策定。町は国の動きに呼応し人口ビジョンを策定したが、既に人口は871人減少、人口ビジョンの検証は。

【答1：町長】2019年11月時点で人口ビジョンより150人下回っている。15歳～64歳の生産年齢人口が大きく下回ったのが原因。0歳～14歳の年少人口は目標を達成し一定の成果は出ている。

### 地域の維持

【問2】町や地域維持に一定の人口が必要、減少する人口動態は予想・計画通りか。

【答2：町長】地域の維持に一定の人口は必要だが、どの年代に何人という人口構成が大事。

### 年少・老年人口比率目標は

【問3】老年人口率上昇及び年少人口率低下に歯止めと言うが、何%を想定か。

【答3：まちづくり課長】若年層低下抑制で15～20%という計画。

### 総合戦略結果公表

【問4】人口ビジョン達成のため、まち・ひと・しごと総合戦略を位置付けているが検証は、また公表は。総合戦略中、仕事を守り育て起こし雇用を創出することで都会からの人材を受入れるまちづくりに6つの施策を掲げている。新産業の創業者を支援し、消費者のニーズに対応するため新しい事業展開を促進する施策はどうなっているか。

【答4：まちづくり課長】検証は行っており、結果は令和元年7月町のホームページに掲載。5段階で3.57という評価で、商品開発では試験研究機関と就農では県やJAと連携をまた移住定住は新規就農の確保定着をと言う意見がある。

### 女性活躍の場・人材誘致は

【問5】豊かな自然・食材、広大な土地をブラッシュアップと新しい感性や豊かな経験を有する女性の活力を引出す成果は。また創業や就業のための企業や人材の誘致はどの程度進んでいるか。

【答5：まちづくり課長】若い女性が働きやすい環境作りにマミーゴーと協定を結びITを使った仕事に取組中。チキンフーズを誘致し、地域おこし協力隊を通じ県外から人材呼込事業を展開、リクルートと連携し雇用創出取組中。

### ぷらっつの展開

【問6】経営支援・販路拡大ブランド化推進のためPA物産館事業とあるが、町産品PRと言うアンテナショップの役割機能は十分に発揮されているか。

【答6：副町長】お土産販売と言うニュアンスもあるが川南の生産品や川南産出の物をエキスとして使っている物も結構ある。

### 第2期の総合戦略はどうする

【問7】施策全般で町外からの転入には意欲を感じるが、転出を抑える視点が乏しいのではないか。第2期の総合戦略はどうするのか。

【答7：町長・まちづくり課長】第1期総合戦略は平成27年から令和2年の6年間、第2期の人口ビジョン、総合戦略は長期総合計画に位置づける。

### 公立・公的病院再編

【問8】本町にある国立病院機構宮崎病院再編対応は新型コロナ感染の影響で先送りされた。決定前の運動が大事だが町の動きは。

【答8：町長】県内市町村長と地域医療に対する声を県・国に述べた。



## コロナウイルス感染拡大の防止と感染者保護の徹底を

中村 昭人

【問1】県内各市町村長の多くが県の情報提供に対して改善すべきと指摘している。市町村の担当者がプレスリリースレベルでしか情報が得られないのはおかしな話だ。感染拡大防止と個人のプライバシー保護のための連携、情報共有の在り方について県と協議すべきでは。

【答1：町長】我々として必要な情報は感染した方と濃厚接触者の個人情報である。まずは感染者の行動履歴、濃厚接触者を速やかに特定していくことが最重要だ。先日行われた新型コロナウイルス感染症担当課長会議に出席した際にも要望した。今後も引き続き、個人情報の提供について働きかけたい。

【問2】コロナ禍が与えた町内産業への影響は。

【答2：町長】農業や林業も含め多くの影響が出ている。飲食店については客足が伸びないという声を聞いている。各セーフティーネット保証の申込が75件あるということで多くが運転資金の確保に走られている。商工業者の現状は大変厳しい状況にあると認識している。

【問3】借入れの返済原資は基本的に将来の売上げの中の利益だ。回復の見通しが立たなければ返済原資に窮し廃業に追い込まれることになりかねない。例えば1年間なり事業を行った結果、前期決算と比べて減少した粗利に対する補償の考えも必要ではないか。

【答3：産業推進課長】現在のところの協力金、支援金等については国の臨時交付金を活用している。今後については町単独費になるので財政サイド等と協議したい。

### 川南町地域通貨(トロン)の普及と決済手数料について問う

【問4】地域通貨の普及はどのような利便性や利益を町民にもたらすのか。

【答4：産業推進課長】現在は国の事業にのって実施しているが、来年度以降に向けて新し

い活用の在り方を検討している。例えば、商品券を支給している助成事業があるが、地域通貨を使えば事務的にも効率化し、役場のパソコンのほうからポイントを自動的に付与することができるので、町民の方も役場に商品券を取りに来られる手間がなくなるので利便性が増す。他にもプレミアムポイントの付与などを考えたい。

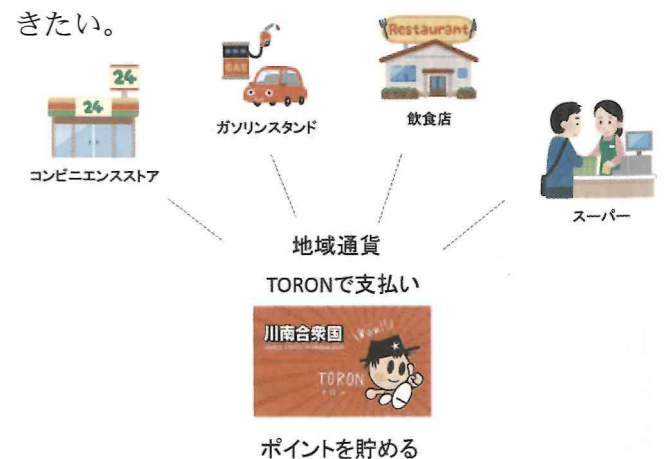
【問5】決済手数料が店舗負担となると撤退する店が出る恐れがある。今後どのように対応していくのか。

【答5：町長】当面は町で手数料(3%)は支援したいと思っている。しかしながら、それが集客、売上のアップにつながるのであれば、将来の手数料負担は投資として見ていただきたいと感じている。

【問6】集客や売上げの基準はどう示すのか。使えるお店が少なくなれば地域通貨を使う人も少なくなるわけで、そうすると自然とこのシステムは機能しなくなる。経済合理性だけではなく将来への決済インフラの維持という側面からも考えていただきたい。

【答6：産業推進課長】どのような業種が地域通貨の取扱いが多いのかなど多方面から分析し、経済効果に関する基準を示せればと考える。

【答6：町長】最終的には事業者の方をお願いしたいというのが本音だが、しっかりと検討していきたい。





## ラズベリー栽培について

福岡 仲次

【問1】宮崎大学と共同研究で栽培したラズベリーの現状は。

【答1：町長】宮崎大学と連携協定を結んで平成28年から4年間栽培に取り組んで、一定の成果は出たが、農家への推進までは至らなかった。

【問2】毎年資金を入れたが金額は。

【答2：産業推進課長】平成28年度210万円、平成29年度55万円、平成30年度55万円、令和元年度88万円、総額408万円の投資である。

【問3】生食用、加工用どちらの取り組みか。

【答3：副町長】加工用としての取り組み栽培をしてきた。活動内容は年2回、状況を伝える程度だった。

【問4】10a当たりの収量は。

【答4：副町長】10a当たり目標は350kgとしていたが、令和2年実績で200kgだった。今後は農業大学校と協定し、農大と宮崎大学、川南町で進めていきたい。

【問5】408万円もの投資をしている。成果が満たされていないことをどう考えるか。

【答5：副町長】多額の税金を投資したので、ぷらっつ等でも特産品として売り出しができるよう、ひいては農家の利益が上がるようにやっていきたい。

## 空き家対策について

【問6】現状の空き家戸数は。

【答6：まちづくり課長】令和元年度調査で198戸が空き家候補とみている。

【問7】空き家のランク付けをしているのか。

【答7：まちづくり課長】Aランク40件、Bランク9件。Aランクとは建物に目立った破損がないもの、Bランクとは外壁、屋根、窓等に破損は認められるが、一応修繕すれば活用が見込めるもの。

【問8】空き家の地権者は分かっているか。

【答8：まちづくり課長】所有者は把握している。そのうちA、Bランクの49件のうち20件については、町外所有者に川南町にある物件について意向調査をし、5名の方から返信があり、1件を川南町の空き家バンクに登録した。残りの29件については意向調査をしており、空き家バンクに登録するように促している。



## 新型コロナウイルス感染症対策について

児玉 助壽

### 感染防止及び経済回復の両立方策は

【問1】新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で町経済は停滞し、町行財政を圧迫している。その解決には経済と感染防止が必要と思うがその方策は。

【答1：町長】両立にはアクセルとブレーキを一緒に踏むしかないという現状であり、感染防止を優先し休業された店、また、営業短縮された店。それに協力金という形で県内基本的には統一した金額で補償し対応しているところである。

### 正確な情報を開示し住民不安の解消を

【問2】県内の市町村長の意見として県が出す情報が圧倒的に足りないなどの声が上がっている。情報不足が住民の不安をあおり、デマ、流言等流布している。県との情報を有し、正確な情報を開示し、住民の不安を解消すべきでは。

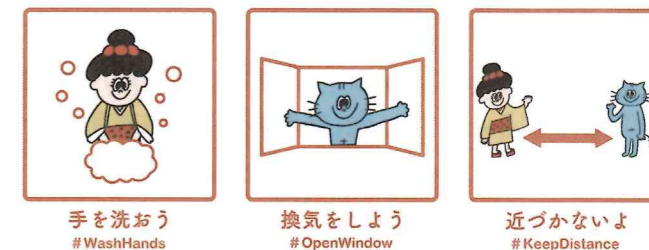
【答2：町長】県の方は国がだす法律に基づき全ての情報を出していないのは事実であるが、ただし、県内市町村、ほとんどのトップは地元で対策をとりたい。だからよそに公言しないので、我々には出してくれと常に言い続けているが、医療関係者が公表に後ろ向きで、それは意味あつてのことであるが、しっかり折り合いつけまず求めるのは、感染をいち早く防ぐ、速やかに収束するというに関しては、市町村長全員、知事も含めて常に交渉し、今後も新しい情報を冷静に判断できるよう進めていきたい。

### PCR検査体制の拡充及び確保充足度は

【問3】県のPCR検査の状況は、濃厚接触者や

感染症状がある人のみだ。これでは、市中感染の無症状感染者が野放しになり、新たなクラスターの発生が危惧されるが、PCR検査体制の拡充を図り脆弱な医療体制の整備を図るべきでは。

【答3：町長】全国的に日本はPCR検査の数が少ないと報道されていることは十分承知しており、我々としては必要な方が速やかに検査を受けられる体制を整えていくことが最重要と考えており、常に高鍋保健所や県と連携を取りながら病床数確保充足度を絡めて、県としては重症患者の治療に必要な設備が整っていないので県内関係機関が一致団結しその対応に当たっている。



### コロナ禍での地域コミュニティ対策は

【問4】コロナ感染防止のために3密をしない新生活様式の中で、地域の多種多様な文化伝統行事が収束の見えないコロナ禍の中で縮小、中止等余儀なくされ、住民の絆、対面交流等希薄になり地域コミュニティの崩壊が危惧される。コロナ禍での新たな地域コミュニティ活動対策が必要では。

【答4：町長】コロナの中で今年一年どれだけの行事が中止になったことか経験したこともなく我々の仕事は何だろうという疑問に向い合いながら、この苦しい経験を次に活かして助け合いの力が、今迄通りの生活に戻ったときに発揮できるように常に職員一同頑張っているところである。



## 新中学校設置について

河野 禎 明

【問1】令和8年中学校統合による新校舎候補地に町はトロンドームの裏のふるさと公園に設置したい構想があり、今年度中に国に申請したい意向だが、町民はほとんどその事を知らない。町民にはどの様に説明するのか。

【答1：町長】町民にしっかり説明する事が重要だと思う。昨年から公民館単位で座談会を開催したが、今年度は新型コロナの影響で実施できない。今年度は町を中心部の地域を開発する立地適正化計画の申請をする準備をする。国への申請は来年度にする。

【問2】現在の小学校1年生からが対象になるのだが、若い父母は振興班に加入していない方が多く情報が伝わらないので、新中学校候補地に①国中②唐中③ふるさと公園(新築)④国立療養所が考えられるが詳しい説明した文章を小学校、中学校、保育園児に配布し町のホームページにコメントしてもらい、また回覧板にも文書を配布して町民の意見を聞く事はできないか。

【答2：町長】現在、学校再編検討委員会(会長・副会長)で検討している。

【答2：副町長】平成29年1月から校区を回って意見を聴取した。町民、PTAの方には今年11月から詳しい説明をしていく。

【問3】三大開拓地の川南町の中学校は広大な自然の中で特色のある部活動をする事で全国から生徒を集め生徒数を増やす事は可能だ。部活動として、サーフィン部(指導者多くいる)、美術部(ドローン操作)、陶芸(優秀な指導者いる)、無農薬で数種の作物を作る農作物部、蚕部(戦後日本を支えてきた産業を実践する)、水泳部(温水プールがあれば町外から生徒が来る。生徒が使用しない時間は町民が利用する)、サスケ部中学生用(テレビで人気の競技の練習ができる。土、日の午後は

県内の中学生に解放)、演劇部(落語等も練習し、高齢者施設を訪問する)以上の部活動をするには広い敷地が必要なので唐瀬原中学校を利用する事はできないのか。

【答3：副町長】唐瀬原中学校の校舎の老朽化、町民の学校に対する思いを考えると中央に新しい校舎が必要だと思う。

中心部に建設すると色々な補助事業が使えて、運動公園、文化ホール、図書館施設の有効利用も図れると思う。

【答3：教育長】新中学校令和8年時の生徒数は約420名が在籍予定なので特色ある部活動の導入も十分考えられる。魅力ある新中学校にするために、文化ホール、図書館、運動公園を活用して生徒にとって豊かな教育関係をつくっていきたくと考えている。

【問4】川南小の指定通学路で更生橋を渡ってすぐに西に行く道路は道幅が狭く非常に危険。至急小学生の安全を確保する為、拡張が必要ではないか。

【答4：建設課長】歩道設置を伴うような改良工事は町単独事業では難しいため補助事業により対応するしかない。今後も近隣住民や学校の要望等を考慮しながら優先順位をつけて整備していく。

【問5】人口減対策に一番重要なのは企業誘致だが、過去10年間の企業誘致の取り組みはどうか。

【答5：町長】最近ではチキンフーズ(株)、MTC(株)(鶏肉加工)、(株)宮崎森林発電所、10月支店開設予定のセンコービジネス(株)等である。

【問6】企業誘致担当の職員は忙しくて手が回らないと思う。現在出向職員が2名いるとのことだが、戻す事はできないか。

【答6：副町長】団体の都合で派遣していたが、今年度中に役場に戻す様に通告している。



## 中学校の統廃合 このまま進めていいのか

内藤 逸子

【問1】子どもの数が減るからと、今ある唐瀬原中学校・国光原中学校をなくして、新たに町の中央部に建設する方針は、急ぐ必要があるのか。学校規模適正化審議会に結論を出させる答えを求めたのか。

【答1：町長】意見を求めた。

【問2】立地適正化計画は、新中学校の開校時期を児童生徒の推移予測を考慮し、令和8年度、建設場所をふるさと総合文化公園周辺が望ましいと言っているが、令和2年度の計画だが子どもにとって望ましいのか。町が活用する国の補助金はなにか。

【答2：町長】令和3年4月に国土交通省のコンパクトシティ形成支援事業という補助金を申請する予定である。

【問3】廃校された地域の将来への影響をどう考えているのか。今のまま学校を残す努力と工夫はないのか。

【答3：町長】総合福祉センターや新たに建設する体育館等を考えている。

【問4】「学校編成は必要だと思う」のアンケートでは回答数の22.8%だけ、中学校の統廃合は、町民の7・8割以上の町民の圧倒的多数の町民合意を得て、進めても遅くはない。

【答4：町長】青写真を示して11月に説明会を行う予定。町民合意はこれからだ。

【問5】コロナ感染状況の中で、全国知事会・全国市長会・全国町村会の3会長が政府・与党に少人数学級を要請するなど、少人数学級をめぐっても、これまでにない動きが広がっている。自然豊かな川南を大いに宣伝して、将来の川南町の人口を増やす方向に転換してはどうか。

【答5：町長】努力が実り先月増になった。

### 新型コロナ対策

【問6】新型コロナウイルスの感染者数が日本は韓国を上回った。川南町も15人の感染者だ。町民の命と暮らしを守るためには川南町はどうするのか。

【答6：町長】宮崎県の指導に従っている。

### 町営牧場の現状

【問7】町営牧場の現状はどうなっているのか。

【答7：町長】現在牛舎6棟で、牝牛160頭、育成牛10頭、子牛70頭を飼育。排水・環境・糞尿処理、管理の現状は、定期的に確認している。

### 児童公園の建設

【問8】ひばりが丘住宅付近に児童公園の建設はできないのか。

【答8：町長】児童公園に適した用地がない。

### 町有地の利用と整備

【問9】ニツ橋地区に三角空き地、この整備はどのようなことから整備されたのか。

【答9：町長】児童の通学路で整備された。

### 川南駅の利用

【問10】川南駅での車イス乗降補助は改善されたのか。駅のトイレ、駅前の道路整備はどのように考えているのか。

【答10：町長】昼間は川南町で対応している。これらについてはJRと協議中である。



## 「町公民館」解体に思う

### 《生い立ち》

現在、川南町公民館の解体工事が行われている。先人の建設への熱い思いと地域住民の社会教育・文化活動の中心として、永年にわたりその大役を担ってきた建物である。初期の中央公民館は、昭和24年6月6日、地方巡幸で天皇陛下が川南村においでになり、陛下が村民の生活状況を視察されて激励されたことに感激し、これを記念して公民館を建設することとなった。村民の教育文化や地域の産業振興などの拠点として、2年後の昭和26年6月6日に「川南村中央公民館」が竣工し開館された。当時は九州で最も新しい型の公民館として喧伝され多くの視察者が来村した。



川南村中央公民館

前述のように中央公民館は戦後復興期の住民の熱望に答えて建設されたもので利用度は高かったが、初期の公民館は資材不足の時代に建築した建物で老朽化が激しく昭和46年に新築され現在に至った。

### 《活動等》

その間、町民の公民館に対する意識高揚と公民館の成長発展を期し、昭和34年2月には「第1回川南町公民館大会」が開催されるなど公民館と地域住民のつながりの深さがうかがえる。以前は、町も社会教育行政の拠点として役場の社会教育課(現在の教育課)が籍を置き、また、皆様もご存じのとおり平成11年からは社会福祉協議会が籍を置くこととなった。



解体中の川南町公民館

次に、PCやスマホのない時代、青年団など各種団体の活動拠点としての利用や各種講習・研修会の利用、さらには住民の結婚式場としての利用など公民館が地域の生活文化の振興に寄与してきた功績は大変大きいものであった。

### 《あとがき》

川南町民と共に生きてきた建物であり、思い出も多い方々も少なくないと思う。一世を風靡した町公民館は解体されるが、戦後の川南発展の拠点であったことは間違いない。諸行無常のごとくであるが、先人の熱い思いは忘れてはならない。総合福祉センター新築に思いを託し、数多くの笑いと感動と共に去っていく「町公民館」に心より感謝したい。

(参考資料：川南町史)

議員：谷村裕二

### 川南の人口と推移

毎月1日現在の現住人口

	人口	転入	転出	自然増減		世帯数
				出生	死亡	
令和2年8月	15,215	32	35	8	8	6,276世帯
令和2年9月	15,229	46	21	8	19	6,279世帯
令和2年10月	15,220	27	31	11	16	6,284世帯

### 編集後記

2月の半ばから当地でも緊迫感に晒されたコロナパンデミック。目に見えないことも手伝って終息が見通せず、ウイズコロナで今後生活様式は一気に変わるだろう。立体マスクの普及やプラ製レジ袋の有料化は時代の変遷を物語る。

さて、9月定例会を中心に議会だよりを纏めました。議会について如実にお伝えしたいが、限られた紙面で制約があることをお許し願います。この冊子が皆様への価値ある情報の一助となれば幸いです。(川上 昇)

【委員長】徳弘美津子 【副委員長】谷村裕二  
【委員】川上 昇 内藤逸子 福岡仲次 米田正直

### 編集・発行

## 宮崎県川南町議会

〒889-1301  
宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1  
TEL (0983) 27-8017

発行者/川南町議会議長  
編集者/議会広報編集特別委員会  
印刷所/ヤマキ印刷